

## 第 8 5 回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成 2 2 年 7 月 2 3 日 (金) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 5 5

2 場 所 事務局第 1 会議室

### 3 議 事

#### (1) 学生の懲戒処分について

(学生の個人情報を含む審議事項であるため非公開)

#### (2) 大学病院の管理運営について

理事(病院担当)から、資料 2 に基づき、病院の副病院長体制を見直し経営基盤強化を図るため新たに「総務(危機管理)担当」の副病院長を増員し現在の「総務・財務担当」を「経営・財務担当」副病院長へ業務変更をすることと、これに伴い病院の副病院長が増員されることから、長崎大学副部局長規則を一部改正することについて提案があり、審議の結果、異議なく了承された。

なお、審議の過程において、大要次のような意見交換があった。

- 副病院長を増員するにあたりその手当財源についてはどうするのか。
- 副病院長の手当は病院の経費で賄う。
- 「総務(危機管理)担当」の副病院長になるための資格等の条件はあるのか。
- 資格等の条件は特に定めていない。
- 任期制の教員が副病院長に就任した場合はどうなるのか。
- 任期制が優先される。
- 危機管理担当とは具体的にはどういう役割か。
- 危機管理担当の役割は、感染・性病、薬物等の管理が主な役割である。

#### (3) 省エネ法改正に伴う「長崎大学におけるエネルギー使用の合理化に関する規程」の改正について

理事(人事・評価担当)及び施設部長から、資料 3 に基づき、一層のエネルギー使用の合理化を目的とした省エネ法の改正により、新しいエネルギー管理体制等を求められたことに伴い「長崎大学におけるエネルギー使用の合理化に関する規程」を整備するため、改正案について説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

なお、審議の過程において、大要次のような意見交換があった。

- 待機電力に関してきちんと対策を取れば、年平均 1 % の省エネは可能ではないか。
- 附属練習船についての掲載がないが、どのように取り扱うのか。
- 附属練習船等の移動物については対象外である。

#### (4) 長崎大学環境・施設マネジメント委員会の設置について

理事(人事・評価担当)及び施設部長から、資料 4 に基づき、省エネ法の改正により一層のエネルギー使用の合理化を推進する体制を整備する観点から、環境委員会と施設マ

ネジメント専門部会を統合し、新たに環境・施設マネジメント委員会を設置することについて説明があり、審議の結果、「長崎大学環境委員会規則」と「長崎大学事務局事務分掌規程」の一部改正については、異議なく了承された。

#### (5) 新しい教養教育実施に向けた提案について

理事（教学担当）から、新しい教養教育カリキュラムWGで取りまとめた平成23年度全学教育改善案については、7月16日開催の連絡調整会議において意見交換を行った旨の経過報告があった後、資料7に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

また、本件の取扱いとしては、本評議会です承されたことを受けて、7月26日開催の教務委員会において具体案を検討することとなった。

なお、審議の過程において、大要次のような意見交換があった。

- 教養教育の改善と教養教育を担うであろう新学部の構想はどのような関係であるのか。また、新学部構想はどうなったのか。
- 教養教育の改善、新学部の構想を検討するにあたり、3月に本学の全学部が共有する学士像及び教養教育の理念等を設定した。「教養教育の改善のために新学部を創設する」では、社会に対する説明責任が取れない。基本的な方針は、①教養教育の改善を検討する、②新学部構想を検討する、この2つを別々に検討し、最後に調整を行うべきではないかと思っている。また、新学部を創設するにあたって、教員・学生の純増は不可能であるため、既存の学部をスリム化しなければならないと考えている。
- 本来教養教育の改善等は科目別委員会で提案・検討すべきであるが、様々な障害があり、また各学部の意向が強いためできていない。教養教育は各学部における教育の基礎であるため、各学部にぜひ協力願いたい。

## 4 報告事項

### (1) 平成23年度概算要求について

理事（財務担当）から、資料5に基づき、本学から文部科学省へ提出した平成23年度概算要求事項と、7月14日に文部科学省で行われた平成23年度概算要求ヒアリングの状況について、報告があった。

### (2) 広報戦略本部の活動について

副学長（広報担当）から、資料6に基づき、広報戦略本部の活動概要について説明があった後、平成22年年9月～12月に多摩大学長・日本総合研究所理事長の寺島実郎氏の協力のもと実施するリレー講座『世界の構造転換と日本の進路』（全6回）を本学中部講堂で開催することについて、報告があった。

### (3) 平成23年度入学選抜要項（大綱）について

副学長（入試担当）から、資料8に基づき、平成23年度入学者選抜要項（大綱）について、平成23年度入学者選抜方法等の主な変更点を中心に報告があった。

また、学長から、入学者選抜要項（大綱）については重点事項であるため、来年度以降はこの最終審議を教育研究評議会で行う旨の説明が加えられた。

#### (4) 今後の大学運営について

学長から、長崎大学の将来構想に関する意見交換をするため各部局の教授会に出向くことの報告と、日程等詳細については今後各部局と調整する旨の説明があった。

#### (5) その他

##### ア 平成23年度概算要求基準（シーリング）について

学長から、資料9に基づき、平成23年度概算要求基準（シーリング）において、国立大学法人運営費交付金の削減が計画されていること、本学の財政面への影響などについて、報告があった。

##### イ 「第71回応用物理学会学術講演会」について

工学部長から、資料10に基づき、第71回応用物理学会学術講演会が平成22年9月14日（火）から17日（金）に文教キャンパスで開催されることの報告と協力依頼があった。

##### ウ 「海の総合展」について

水産学部長から、7月17日（土）から8月1日（日）まで開催の「海フェスタ」の一環として、県立美術館において、水産学部、附属図書館及び環東シナ海研究センターの共同で「海の総合展」を出展している旨の案内があった。

なお、同学部長から本学として展示物の保存について配慮してほしい旨の要望があった。

以上